

昆虫が媒介する病気

「昆虫綱」

今年8月、デング熱が65年ぶりに東京の公園で国内感染し、大きな話題となりました。日本では、蚊の一種のヒトスジシマカが病原ウイルスを媒介します。この蚊は、1950年頃は関東以南が分布域でしたが、現在は岩手や秋田も分布域となりました。このウイルスは卵に移行しないことから、日本での越冬は困難とされ、一息ついた状態です◆そこで本稿では、人間や植物の病気を媒介する昆虫についてその概要を紹介し、動物や植物の組織に口を挿入して吸汁するグループの話です◆人間の病気では、ヨ



話題となったヒトスジシマカ

ロツバで歴史的大流行が繰り返され、現在は根絶されたベスト菌(研究機関では保存)は、ネズミで増殖し、ノミが媒介虫でした。人間の血液を吸う蚊は、多くのウイルス病を媒介し、特に日本では、日本脳炎ウイルスの媒介虫として恐れられていました。ワクチンの積極的投与によって患者数が激減しました。この日本脳炎は鳥や爬虫類に宿り、豚で増殖、家の中に多いアカイエカなどが媒介しました◆植物の病気では、実に多くの病気が存在します。特に、植物に口を突き刺すアブラムシやヨコバイ類、植物に傷をつけるアザミウマ類が中心です。今年9月号で紹介したイネ縮葉枯病ウイルスはヒメトビウンカが媒介、体内で増殖し、卵に移行します。ウメの病気として恐れられているウメ輪紋病は、実験室でモモアカアブラムシの媒介が確認され、ウイルス保有は短時間です。アジサイ葉化病は昆虫媒介性細菌とされていますが、媒介虫は未解明です。

(江村 薫)

## おごせ アートミュージアム【越生小学校】



6年 荒幡 光汰くん  
『広がった世界』



5年 米川 佑くん  
『越生祭り』



### あとがき

わだいなき振りでもお伝えしましたが、「武蔵おごせハイキング大会」は参加者が5千人を超す嬉しい出来事がありました。多すぎて渋滞が起きたり、山道がべちゃべちゃだったり等々ありましたが、ハイキングの町宣言する越生町にとって重要な課題になりそうです。

僕は黒山三滝のチェックポイントで案内をしていましたが、半数近くは20代・30代だったように思います。今、若者にとって「越生町でハイキング」は、「表参道でパンケーキ」に次ぐ最新トレンドなようです(言い過ぎにもほどがありました)。もしくは、ハイキングをしている人は、一回りも二回りも若く見えるのかも知れません(嘘ではありません)。よ。参加者と話してみると、初めて越生町来た人が多く、県外からはるばる参加している人もいました。そして、いい印象を持ってくださいました。そして、次は七福神めぐりがあります。町民のみならず、周りの方を誘ってぜひ参加してください。【太陽】

### 12月の納税(12月25日まで)

町 県 民 税 第4期  
国民健康保険税 第6期

バーコード印字のある納付書は、納期限内に限りコンビニエンスストアでの納付に使用できます。詳細は納付書をご覧ください。

### 人口と世帯 11月1日現在( )は前月比

|     |         |       |
|-----|---------|-------|
| 総人口 | 12,334人 | (-17) |
| 男性  | 6,145人  | (-12) |
| 女性  | 6,189人  | (-5)  |
| 世帯数 | 4,957世帯 | (-2)  |